

# 災害時の防災情報ガイド

災害時に必要となる情報は、その災害の種類に応じて様々なものがあります。テレビやラジオで放送される災害に関する全般的な情報を確認するほか、次のようなツールを使って、いち早く情報を入手しましょう。

〈ホームページ〉 横浜市の防災に関するあらゆる情報が確認できます。

## ■ 横浜市webサイト

災害時の緊急情報や、日頃の備えである自助・共助・公助の取組について掲載しています。



〈メール〉 避難情報などをいち早くお届けします。

## ■ 横浜市防災情報Eメール

避難指示や津波警報の発表などの防災緊急情報を携帯電話・パソコン向けにEメールで配信するサービスを行っています。右記QRコードでEメールアドレスが表示されます。空メールを送信してください。登録案内メールが届きます。

横浜市防災情報Eメール:

bousai-yokohama@cousmail-entry.cous.jp



## ■ 緊急速報メール

横浜市内のエリアにある携帯電話(NTTドコモ、KDDI(au)、ソフトバンクモバイル、ワイモバイル、楽天モバイル)に対し、横浜市の災害情報や避難情報などを配信します。こちらは、登録が不要です。

※対応機種などの詳細については、各社webページまたは窓口等でご確認ください。

〈アプリ〉 自分に必要な防災情報を必要な時に確認することができます!

## ■ 横浜市避難ナビ

マイ・タイムラインの作成から避難所検索、災害時の避難情報の受信などができます。



## ■ Yahoo!防災速報

スマートフォンから利用できるアプリをダウンロードすることで、横浜市の防災緊急情報を受信できます。



## ■ NHKニュース・防災アプリ

スマートフォンから利用できるアプリをダウンロードすることで、災害・避難情報やマップ上で雨雲や台風、河川情報を確認することができます。



〈ツイッター〉 避難情報などをいち早く発信しています。

## ■ 横浜市総務局危機管理室の公式アカウント

市内で広域的な災害が予測される場合の避難等に関する情報や、災害対策本部体制下における災害等に関する情報、特別警報、警報、一部の注意報の発令解除情報を発信します。

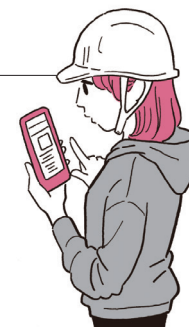
横浜市総務局危機管理室ツイッターアカウント:

@yokohama\_saigai



〈防災スピーカー〉 屋外放送で緊急情報をお伝えします。

区役所や地域防災拠点である小中学校などに「アラートの緊急情報などを放送する「防災スピーカー」を計190か所に設置しています。また、沿岸部に設置している津波警報伝達システムの屋外スピーカーからは、防災スピーカーと同様に、「アラートの緊急情報などを放送します。



## 横浜市災害時における自助及び共助の推進に関する条例が一部改正されました

市民・事業者の自助・共助の理念と役割を明らかにすることにより、市民・事業者の自発的な防災活動の促進を図り、減災社会の実現に寄与することを目的に、東日本大震災後の平成25年に「横浜市災害時における自助及び共助の推進に関する条例」が制定されました。

近年、気候変動の影響から自然災害が激甚化し、各地で被害が多発しています。東日本大震災の教訓を風化させることなく、また時代の変化に即した条例とし、市民及び事業者の皆様が自助・共助の取組をより一層推進するため、条例が改正されました。

### 【条例の主な改正点】

#### ●「町の防災組織」の定義

マンションによる防災活動が進んでいるため、マンション管理組合を明記します。

#### ●「風水害」も想定した対策の充実

「地震への備え」だけでなく、「風水害への備え」として、「マイタイムライン」の作成など、安全を確保するために必要な事項を行うことを明記します。

#### ●自主避難の強化

避難指示等が出される前であっても、自身で避難すべきと判断したときは、速やかに、自主的に避難することを明確化します。

#### ●事業者による対策の充実

- ・消火、救出救助に関する資材・機材の整備、またその他の災害対策全般の推進を図ります。
- ・従業者等の安全を確保するために必要な事項に従業者等へ周知することを徹底します。
- ・事業活動を継続するための計画を作成することを例示します。

#### ●地域防災拠点における配慮事項等

避難者の人権の尊重及び感染症等の対策を行うことを明記します。

横浜市 防災啓発

## 災害対策度チェック

災害に備えて、次の項目をひとつずつ点検してみましょう。  
近所で情報交換をしながら、定期的にチェックするようにしましょう。

### ● 印のつけ方

対策ができていない項目のチェックボックスに、印をつけましょう。

チェックボックスの左の **地** は地震対策、**風** は風水害対策、**地** **風** は地震と風水害等の共通事項となります。見出しごとに印をつけた数をかぞえて、レーダーチャートを作成しましょう！

### 記入例

未対策  対策済み

<h4>1 家の安全性</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 防災について家族で話し合いをしている</li> <li><input type="checkbox"/> ガラスの飛散防止対策をしている</li> <li><input type="checkbox"/> 地震の中で災害時の連絡方法をイメージし、決めている</li> <li><input type="checkbox"/> 雨漏りや雨水まきは排除している</li> <li><input type="checkbox"/> 自宅の耐震性には問題ない</li> <li><input type="checkbox"/> 家具の転倒防止対策をしている</li> <li><input type="checkbox"/> 家具の転倒防止対策をしている</li> </ul>	<h4>2 火災・風水害の対策</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 消火器を備え、訓練で消火器を使用したことがある</li> <li><input type="checkbox"/> 感震ブレーカーを設置している</li> <li><input type="checkbox"/> 履物器具は倒れると自動的に消えるものを使っている</li> <li><input type="checkbox"/> 風水害時の避難の考え方を確認した</li> <li><input type="checkbox"/> カーテンなどは、防災処理したのものを使っている</li> <li><input type="checkbox"/> 風水害時の避難行動を確認した</li> <li><input type="checkbox"/> 自宅に火災警報器を設置している</li> <li><input type="checkbox"/> 崖崩れの前兆現象を確認した</li> <li><input type="checkbox"/> 浸水時の地下施設等の危険性を理解した</li> </ul>
<h4>3 備蓄</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 備蓄について、家族で話し合いをしている</li> <li><input type="checkbox"/> トイレバックを備蓄している</li> <li><input type="checkbox"/> 3日以上以上の水や食料を備蓄している</li> <li><input type="checkbox"/> 非常持出品を用意している</li> <li><input type="checkbox"/> 備蓄してある場所を家族みんなが知っている</li> </ul>	<h4>4 いざというときに備えた様々な取組</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 災害時の情報とり方を確認した</li> <li><input type="checkbox"/> 応急手当を確認した</li> <li><input type="checkbox"/> 帰宅困難時の対応を確認した</li> <li><input type="checkbox"/> ハザードマップ等で自宅周辺や避難経路の危険性を確認した</li> <li><input type="checkbox"/> 津波からの避難のポイントを確認した</li> <li><input type="checkbox"/> マイタイムラインを作成した</li> <li><input type="checkbox"/> 自分が避難する避難所や避難場所を確認した</li> </ul>
<h4>5 地域の取組</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 隣近所とコミュニケーションをとっている</li> <li><input type="checkbox"/> 自治会・町内会のリーダーとなっている</li> <li><input type="checkbox"/> 自治会・町内会の活動に参加している</li> <li><input type="checkbox"/> 防災訓練に参加している</li> <li><input type="checkbox"/> まち歩きを行った</li> </ul>	

震災は忘れたころにやってくる  
災害時、まず最初に必要なものは「<sup>あか</sup>灯り」



灯-mawali

灯-mawali ライト

[https://hi-mawali.jp/himawali\\_light/](https://hi-mawali.jp/himawali_light/)



## ぼうさい 防災よこはま ハンドブック

令和4年3月 初版発行

### 横浜市総務局 危機管理室地域防災課

〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10  
TEL: (045)671-3456 FAX: (045)641-1677

制作協力：株式会社ペガサス

制作管理：七理義明(PEGASUS)

制作進行・表紙イラスト：川邊育子(PEGASUS)

編集協力：主婦の友インフォス、濱田恵理

イラスト：タテノカズヒロ、古賀勇太(PEGASUS) [P8-11]

デザイン：福田真一

校正：安倍健一